

探究通信

2022 (第4号)
富山県立高岡高等学校

2022年10月発行
編集 探究科学委員

1年探究科学科「立山実習」－7月28日(木)－

7月28日(木)、1年探究科学科80名は、生物・地学・歴史・地理の各班に分かれて、立山実習を行いました。以下、各班の活動内容を紹介します。

【生物班】



普通の杉と立山杉との違いを学ぶ様子。

生物班では、各標高における樹木の植生の違いから環境への適応を調べた。美女平、弥陀ヶ原、室堂で植物の観察と樹高の測定を行った。

〈感想〉 標高が高くなるにつれて樹高が低くなっていることから植物は環境に適応し、厳しい環境の中で生き抜くために形を変化させてきたと分かった。

【地学班】



水の沸点を測定しているところ。

地学班は、高度による気圧の変化を調べるとともに、室堂山山頂を目指しながら立山カルデラ周辺の岩石や地形を観察した。

〈感想〉 気圧計や水の沸点からだけでなく、山頂の寒さやお菓子の袋の膨らみ方など、実習でしか体験できないところから気圧の変化を実感することができた。

【歴史班】



立山博物館にて、立山曼荼羅を鑑賞している様子。

歴史班は、立山信仰の面から立山の歴史を学んだ。立山博物館と室堂周辺を周り、まるで天界のような神秘的な自然や、何百年も前に作られた貴重な観音像などを見た。

〈感想〉 立山は、自然だけではなく、歴史的にも非常に価値があると知った。現代では、信仰登山からスポーツや観光のための登山に変わりつつあることも分かった。

【地理班】



白岩砂防ダムの説明を受ける様子。

地理班は、富山県の河川に着眼点をもち、過去に起こった災害と、それを教訓に先人たちが行ってきた努力を、実際に立山カルデラの内部に行って学んだ。

〈感想〉 過去の多くの洪水被害を受けて、私達の生活を守るための砂防工事に多くの人が関わっていると知り、感謝して過ごしたいと思った。

高山グローバルサマーフェスタ(8/9～12)に参加

8月9～12日の4日間、高山グローバルサマーフェスタ(愛知県立旭丘高校主催)に、1,2年探究科学科の3名が参加しました。旭丘高校生、千種高校生のほか、大学生や留学生とともに、「グローバルリーダーとは何か」について考える、さまざまな活動をしました。

1日目	2日目	3日目	4日目
フォーラム① 非営利株式会社 eumo 代表取締役 新井和宏氏による講演 ワークショップ① 高山の伝統産業を見学・体験	セミナー①② …6講座の中から選択 フォーラム②・ワークショップ② …4講座の中から選択→班で共有 ワークショップ③ 「飛騨高山学」	セミナー③ フォーラム③・ワークショップ④ 広島県立大学大学院 教授百武ひろ子氏による合意形成チャレンジ ワークショップ⑤⑥	インテグレーション 「グローバルリーダーとは何か」について発表 ワークショップ⑦ 若者による飛騨高山の未来づくり「村半」 ○高山研修

フォーラム① 新井和宏氏「グローバルリーダーのパーパスとは何か(手段と目的)」

お金や英語は手段であって、それが目的になってしまえばいけない、ということが分かりました。また新井さんは、「非営利株式会社」という、株主に配当を支払わず社会起業家を支援する会社を起業されていて、お金を生かして人を動かすという発想に共感しました。学生時代には、様々な人の価値観やお金の使い方を学ぶ機会が、絶対に必要だと思いました。

セミナー①②③ …大学生、留学生のセミナーリーダー(SL)が、自分の研究分野などについての話をしてくれました。日本と中国の学校教育の比較をしたり、異文化交流について考えたりしました。

★SLとして参加した本校卒業生からのメッセージ!

- 西谷香音さん: 新しい自分を見つける「きっかけ」として飛び込むには最適なイベントだと思います。アウェー戦だからこそタカ高生には積極的に参加してほしいです!
- 石川大洋さん: 高校時代には、受験志向の勉強だけでなく、自分を探究する学びもお勧めします!

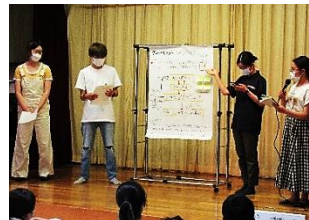
フォーラム③・ワークショップ④

百武ひろ子先生「合意形成チャレンジワークショップ」

合意形成とは、立場の違う人同士が議論し合うことでお互いが納得できるものをつくりだすことです。合意形成のための話し合いに必要なプロセスや、ファシリテーターという役割についても学びました。話し合いの中では、言いにくいことでも言うべきことはしっかりと話し合い、議論することが大切だと感じました。



↑「合意形成チャレンジワークショップ」の様子



←発表の様子

☆インテグレーション「グローバルリーダーとは何か?」

どの班も前日の夜から活発な議論を行い、発表を創りあげました。この4日間を通して学んだこと、感じたことを共有しあい、自分たちなりのグローバルリーダー像を考えることができたと思います。

～編集後記～ 前期最後の探究通信、どうでしたか? もう一度立山実習を振り返り、さらに学びを深めていきましょう。また、高山グローバルサマーフェスタでの学びを皆さんと共有できて嬉しく思います。前期の間、ありがとうございました!(1年探究科学委員、高山GSF参加者)